

BIEC の本当の発見

BIEC の本当の発見は、

現象の発見ではなく、

異なる領域に存在する個別実装の「同型性」の発見

だと思います。

ここは BIEC の思想をかなり明確にできます。

つまり、

- 「同じものを発見した」のではなく、
- 「違うものだと思われていたものが、実は同じ設計原理で説明できることに気づいた」。

これなら非常に強い。

そしてもう一つ。

BIEC は「Resonance and Balance Design 響合共生設計」を実装する技術

である。

「BIEC＝産業横断的な設計思想／プラットフォーム原理」と、

「BIEC＝Resonance and Balance Design を実装する技術」

は、切り離す。

BIEC とは何か
↓
なぜ産業横断的なのか
↓
なぜプラットフォームになれるのか

まで持っていく、

では、

その共通原理を BIEC は具体的に何によって実装するのか？

→ Resonance and Balance Design

とした方が、論理の階段がきれいです。

今は「足す」段階ではなく、重複を削って、

BIEC の発見の一点

「BIEC＝産業横断的な設計思想／プラットフォーム原理」

を際立たせる段階だと思います。